**忍び寄る遺伝子組み換え作物**

**拡散気づかず栽培も**

2013年12月22日05時00分

[日本のトウモロコシ、大豆、ナタネの主要輸入国／日本のトウモロコシ、大豆、ナタネの輸入量と遺伝子組み換えの推定量（２０１２年）](http://digital.asahi.com/articles/photo/AS20131222000517.html)

　米・オレゴン州産の小麦の輸入が今年、一時停止された。同州の畑で、栽培されていないはずの遺伝子組み換え（ＧＭ）小麦が見つかったためだった。 日本では、安全性が確認されていないＧＭ作物が知らぬまに栽培されていたケースもある。こうした現象はもっと増える可能性があると専門家は指摘する。

　■米・オレゴン　枯れぬ小麦、経緯不明

　収穫を終えた麦畑がうねるように広がる。米国北西部のオレゴン州。年１４０万トンの小麦生産は州の主要産業だ。この小麦畑の一角で今年春、ＧＭ小麦が生えているのが見つかった。

　ＧＭ大豆などが商業栽培されている米国でも、ＧＭ小麦は商業栽培されていない。だが、[除草剤](http://www.asahi.com/topics/word/%E9%99%A4%E8%8D%89%E5%89%A4.html)をまいても枯れなかった小麦があり、分析の結果、種子の大手、米モンサント社が１９９８～２００５年、全米各地で試験栽培したＧＭ小麦と判明した。日本は同州の小麦の輸入を停止した。

　試験栽培の場所は公表されていないが、分析した研究者によると最も近いところでも数十キロは離れているとみられる。なぜ８年もたって突然現れたのか。米農務省が調べたが、原因は分からないままだ。モンサント社は「食品としての安全性については[米食品医薬品局](http://www.asahi.com/topics/word/%E7%B1%B3%E9%A3%9F%E5%93%81%E5%8C%BB%E8%96%AC%E5%93%81%E5%B1%80.html)（ＦＤＡ）の審査を終えていた。今回の原因は分からないが、流通経路に混入はない」としている。

　日本の[農林水産省](http://www.asahi.com/topics/word/%E8%BE%B2%E6%9E%97%E6%B0%B4%E7%94%A3%E7%9C%81.html)は輸入していた同じ品種の在庫小麦などを検査。ＧＭはないと判明し、検査態勢を整えて７月に輸入再開を発表した。

　同州から日本への小麦輸出は５０年以上続く。リーダー・クレイグさん（３７）も代々、育ててきた。「日本人が敬遠するＧＭ小麦が見つかったなんて。原因がわからず不気味だ」と話す。（伊藤恵里奈）

　■沖縄　パパイア、台湾から混入

　２年前の春、沖縄。県民が炒め物などで食べる[伝統野菜](http://www.asahi.com/topics/word/%E4%BC%9D%E7%B5%B1%E9%87%8E%E8%8F%9C.html)パパイアの農場で、国から安全性が認められていない種類のＧＭパパイアが見つかった。８７農家の約８千本が伐採された。

　別の種類のＧＭパパイアを研究していた国立医薬品食品衛生研究所が偶然、直売所のパパイアを検査したところＧＭの疑いのパパイアが見つかり、農水省が調査。混入したのは台湾の大学で研究されたＧＭパパイアと判明した。台湾では病気に強いパパイアが研究されていたという。

　大学から台湾の種苗会社の農場に紛れ込み、そこから種苗を輸入した日本の種苗会社が農家に販売していた。０５年から０９年に輸入されたという。どうやって台湾の会社の農場に入ったかは今もわかっていない。

　「[無農薬](http://www.asahi.com/topics/word/%E7%84%A1%E8%BE%B2%E8%96%AC.html)で[食の安全](http://www.asahi.com/topics/word/%E9%A3%9F%E3%81%AE%E5%AE%89%E5%85%A8.html)にこだわっていたのに。知らぬまにＧＭパパイアを栽培していたなんて」。専業農家の大城浩明さん（６１）は憤る。直売所や農協に出荷し、全国に流通。地元の小中学校の給食用にも出していた。

　国の調査で昨年、道ばたなどに生えるパパイア５９本がＧＭとみられるとわかり、伐採した。鳥が種を運んだとみられる。今年は見つかっていないが、農水省の担当者は「もう流通はしていないものの、ほかに生えていない保証はない」。調査を続けていくという。

　■研究所推計、輸入大豆の８８％　加工・飼料用に

　ＧＭ作物の商業栽培は９６年に米国で始まった。国際アグリバイオ事業団によると、[ブラジル](http://www.asahi.com/topics/word/%E3%83%96%E3%83%A9%E3%82%B8%E3%83%AB.html)など２８カ国に広がり、昨年の栽培面積は９６年の１００倍に。米国では栽培されるトウモロコシや大豆の約９割に上る。

　日本ではトウモロコシなど８作物２８３種類について食用の安全性を確認。[独立行政法人](http://www.asahi.com/topics/word/%E7%8B%AC%E7%AB%8B%E8%A1%8C%E6%94%BF%E6%B3%95%E4%BA%BA.html)[農業生物資源研究所](http://www.asahi.com/topics/word/%E8%BE%B2%E6%A5%AD%E7%94%9F%E7%89%A9%E8%B3%87%E6%BA%90%E7%A0%94%E7%A9%B6%E6%89%80.html)の推計では、昨年日本が輸入した大豆の８８％がＧＭとみられるなど多くのＧＭ作物が輸入され、[食用油](http://www.asahi.com/topics/word/%E9%A3%9F%E7%94%A8%E6%B2%B9.html)への加工や家畜の飼料などに使われている。農水省によると、大豆の国内[自給率](http://www.asahi.com/topics/word/%E8%87%AA%E7%B5%A6%E7%8E%87.html)は８％にとどまるなど輸入に頼る作物も多い。

　自然界の植物は花粉を飛ばすことなどで子孫を広げるが、モンサント社はＧＭ作物について「交雑種が近縁種に取ってかわらないなど環境への安全性を確認している」と説明する。日本でも[生物多様性](http://www.asahi.com/topics/word/%E7%94%9F%E7%89%A9%E5%A4%9A%E6%A7%98%E6%80%A7.html)への影響がないことを確認した大豆など８作物９７種類は栽培を承認。だが、「実際に食用で商業栽培している例はない」（農水省）。消費者の抵抗感などが理由という。

　九州や関西の１４生協でつくるグリーンコープ（本部・福岡）の[遺伝子組み換え食品](http://www.asahi.com/topics/word/%E9%81%BA%E4%BC%9D%E5%AD%90%E7%B5%84%E3%81%BF%E6%8F%9B%E3%81%88%E9%A3%9F%E5%93%81.html)に関する専務スタッフ中島克哉さんは「長期的に摂取して人体に被害がないか、将来的に生態系に影響がないかなど解明できていないこともある。何か起きてからでは遅い」と話す。

　[東京農大](http://www.asahi.com/topics/word/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E8%BE%B2%E5%A4%A7.html)の山口裕文教授（応用[生物多様性](http://www.asahi.com/topics/word/%E7%94%9F%E7%89%A9%E5%A4%9A%E6%A7%98%E6%80%A7.html)学）は「食材や種子は国境を越えて移動している。ＧＭ作物が知らぬまに入り育つことは、どこでも起こりうる現象だ。日本の対応は後手に回っており、こうした現象はもっと増える可能性がある。開発した研究機関や企業はしっかり管理する責任がある」と指摘する。

　（才本淳子、田中京子）

　◆[キーワード](http://www.asahi.com/topics/word/%E3%82%AD%E3%83%BC%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%83%89.html)

　＜遺伝子組み換え（ＧＭ）作物＞　特定の[除草剤](http://www.asahi.com/topics/word/%E9%99%A4%E8%8D%89%E5%89%A4.html)では枯れない、食べた害虫が死ぬなど特定の機能を持つ遺伝子を組み込んだ作物。世界の食糧需要をまかなう期待がある一方、長期間摂取した場合の安全性に不安の声がある。

　日本では、[厚生労働省](http://www.asahi.com/topics/word/%E5%8E%9A%E7%94%9F%E5%8A%B4%E5%83%8D%E7%9C%81.html)と[内閣府](http://www.asahi.com/topics/word/%E5%86%85%E9%96%A3%E5%BA%9C.html)の[食品安全委員会](http://www.asahi.com/topics/word/%E9%A3%9F%E5%93%81%E5%AE%89%E5%85%A8%E5%A7%94%E5%93%A1%E4%BC%9A.html)がジャガイモ、大豆、テンサイ、トウモロコシ、ナタネ、ワタ、アルファルファ、パパイアの８作物２８３種類について食用の安全性を確認している。

digital.asahi.com/articles/DA2S10893364.html?\_requesturl=articles/DA2S10893364.html&iref=comkiji\_txt\_end\_s\_kjid\_DA2S10893364